

# グローバルイノベーション創出支援事業 平成26年度・上半期の主なイベント

大阪市経済戦略局

## Morning Meet Up

毎月第2木曜日(業種別)及び第4木曜日  
7:00~8:30 ※6月までは第4木曜のみ



主催：トーマツベンチャーサポート株式会社

### 目的・概要

シードまたはアーリーステージの事業者がプレゼンを行い、大企業との提携、資金調達、メディア露出などを行う。

### 参加状況

584名(2014年4~9月) ※平成26年度の7回分  
登壇者 32名 / 聴衆 約550名(企業、VC、金融機関、監査法人、マスコミ、起業家、弁護士、社労士等)

### 実施状況・結果等

これまでに、IT、ライフ、グリーン、クラウドファンディングなど様々な事業を紹介し、聴衆との質疑応答や交流を通じて、事業のブラッシュアップ、参加者との提携につながっている。

## ツッコまれピッチ！2014【大阪・謀略編】

平成26年 8月 23日(土) 14:00~18:00



主催：大阪イノベーションハブ

### 目的・概要

投資を呼び込むのに必須なスキルであるプレゼンテーション能力の強化のため、ショービジネスのスペシャリストである吉本興業とコラボし、起業家・スタートアップの登壇者たちがビジネスモデルを伝える能力の向上を図る。

### 参加状況

登壇者 10組 / 聴衆 73名(ベンチャー、スタートアップのCEO等 および 見学者)

### 実施状況・結果等

野球のオンラインレッスン、足底感覚検査システム、オーダーメイドの学習サービス、地産地消の独立電源、道の駅のロコミ情報サイト、香りが残らない香り噴射装置などのプレゼンテーションを行った。

## オープンイノベーションフェスティバル

平成26年8月30日(土) 13:00~17:00 アイデアブラッシュアップ  
9月 6日(土) 13:00~16:00 プレゼン審査会

主催：西日本電信電話株式会社(コトの共創ラボ)

### 目的・概要

大企業(NTT西日本)のサービスやインフラと親和性の高い、未来のサービスを創造する場をスタートアップに提供することで大企業とスタートアップの出会い、ひいては両者のコラボによるイノベティブなサービス創出を図る。

### 参加・実施状況

53名 ベンチャー企業等9チーム (NTT西日本社員が各チームに1名ずつ参画して協創するプログラム)  
電報の仕組みを使った植物のギフトサービス、フレッツ会員制サイトのポイント消費と絡めた絵本ECサイト等

## TechCrunch Hackathon Osaka

平成26年4月12日(土)、13日(日) 10:00~19:00



主催 : AOLオンライン・ジャパン株式会社

### 目的・概要

IoT(Internet of Things/もののインターネット)をテーマに、著名なスタートアップメディア「テックランチ」が大阪イノベーションハブでハッカソンを行うことにより、関西圏でのスタートアップの集積を生み出すとともに、その活性化を図る。

### 参加・実施状況

49名(エンジニア、デザイナー、ディレクター等)が参加し、12チームが結成された。  
⇒ 広告効果解析サービス、近接通信を用いた音楽交換アプリ、人間の表情に連動して動くスマート玩具 など

## ITのチカラで世代をつなぐハッカソン 未来予知アワード2014

平成26年9月20日(土)、21日(日)、22日(月)

主催 : Yahoo! JAPAN

### 目的・概要

「自分の未来をより幸せにする」もしくは「家族や大事な人、自分の死後に残された人たちを幸せにする」という長い時間軸での新しいアイデアを形にするハッカソン



### 参加・実施状況

11チーム約40名が参加。近年増加している「単身の若年層の孤独死」という問題の解決をめざす、シャイな若者同士の仲間づくりを支援するアイデアが大賞を受賞。Yahoo!の協力で事業化される予定。

## Firefox OS x HTML5 x LOD WEBイノベーションハッカソン

平成26年 6月28日(土)、6月29日(日)、7月19日(土)、9月14日(日)、9月15日(祝)の全5回

主催 : 大阪イノベーションハブ

### 目的・概要

Linked Open Data × Firefox OS のアプリケーションの作成を行うアイデアソン、ハッカソン。  
今年2月にアジア初のODI City Nodeとなった大阪イノベーションハブで開催。



### 参加・実施状況

45名(大学生24名、エンジニア等) ※女性が15人と多め 7チームがアプリの作成に取り組んだ。  
⇒ 地元と旅行者のお薦め情報が地図上に表示される投稿型アプリ、試飲できる店が分かるアプリ など

## Civic Hack OSAKA 2014

平成26年 8月24日(日) アイデアソン、31日(日) ハッカソン

主催 : ITエンジニアが中心となった実行委員会

### 目的・概要

地域の様々な問題を市民の目線とらえて解決するため、行政機関が公開するオープンデータ等のIT資源を活用して新たなニーズの発掘、ブラッシュアップを行い、市民による新たな行政サービスの開発、未来のまちづくりにつなげる。

### 参加・実施状況

35名(行政職員10名、プログラマー、デザイナー、大学・高専の教員、学生等)が参加し、6チームが結成された。  
⇒ 街中の段差マッピングアプリ、ボランティア活動マッチングアプリ、ごみ出し時間・ルート表示アプリなど

## iRooBo Network Forum

主催：株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

平成26年7月1日(火) 14:30~18:00 設立記念イベント  
8月1日(金) 14:00~16:00 セミナー

### 目的・概要

ロボットの研究開発からイノベーション促進まで、一体的な支援体制を強化するため、大阪と東京に拠点を置く2大ロボット開発プラットフォームが合併し、日本最大級のロボットコンソーシアム「i-RooBo Network Forum」が誕生。旧プラットフォームの会員が有していた強みを持ち寄ってIoT分野における新しいロボットの試作開発、実証実験、社会実装を支援するなど、新たなサービスが次々に生まれる仕組みを構築する。

### 参加状況

81名

メーカー(家電、電子、ロボット、住宅、化学)、デザイン、印刷、商社、介護施設、エンターテインメント、新聞社、大学、研究機関、ベンチャーキャピタル、官公庁 等

### 実施状況・結果等



#### ①7月1日の設立記念イベント

- ・ICTとビッグデータを活用して都市と生活にイノベーションをもたらす契機とするため、IoT×LOD×RTをテーマに事例紹介と今後の展望の解説を行い、スマートリテイル、ホームヘルスケア、オープンデータソリューション分野でのプロジェクトメンバーを募集した。
- ・参加者をグループ分けしてロボットビジネスのアイデアを生み出すワークショップを実施した。



#### ②8月1日のセミナー

「人と共生するロボットのあり方」、「ロボットサービスの最前線」、「ロボット開発の新しい提案」という3つのテーマで、これからの社会を変える可能性のあるIoTやロボットについて、各分野のフロントランナーが提案と考察を行った。

石黒 浩 氏(ATR 石黒浩特別研究所 所長(客員)、大阪大学大学院基礎工学研究科特別教授)  
木内 文昭 氏(株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング 取締役)



#### ③10月10日 iRooBO Meeting! Vol.01(第1回定例会議)

ソフトバンクのパーソナルロボットPepperのタッチ&トライ用デモ機がOIHに貸与されたことを受け、Pepperの動作アプリ開発のため、ソフトバンクロボティクス(株)による開発キットの使用法説明を行った。

## Lean Launch Pad Osaka 実践ワークショップ

平成26年 7月4日(金)、7月5日(土)、7月18日(金)、8月2日(土)、30日(土)の全5回

主催：大阪イノベーションハブ

### 目的・概要



アントレプレナーや企業の新規事業担当者が、実践を通じた仮説検証と軌道修正(ピボット)を迅速に何度も繰り返すリーンスタートアップを自ら体験することで、チームづくりや新規事業を立ち上げるための経営スキルを磨く。  
※「Lean Launch Pad」とは、効果的に新規事業をスタートさせる「リーンスタートアップ」思想の先駆け、スタンフォード大学准教授のSteve Blank氏が提唱する顧客開発モデル(Customer Development Model)の実践的起業家教育プログラム

### 参加・実施状況

22名 メーカー(電機・医薬品)、サービス(通信・健康・広告)、監査法人、NPO法人、起業準備中 等  
⇒アイデアプレゼン、ビジネスモデル仮説の発表・討論、模擬インタビュー、検証状況の発表を行い、海外在住の日本人が、旅行予定者にオーダーメイドの旅行プランを作成・提供するサービスが最優秀賞に選ばれた。

## Intelligent Business Communication Workshop

平成26年7月23日～12月24日の毎週水曜 全22回



主催：大阪イノベーションハブ

### 目的・概要

英語でのビジネスコミュニケーションの精度を上げる実践型ワークショッププログラム。

### 参加状況

16名 メーカー、IT・通信サービス、通信販売、商社、インテリアデザイン、ベンチャーキャピタル、地方自治体 等

### 実施状況・結果等

海外での事業展開を希望する受講生が、2週に1度以上の頻度で自らのビジネスプラン等を英語で発表する。受講生同士が毎回チームを変えて課題に取り組み、互いにメンターとなり英語で議論する。ともにOIHの他のイベントに参加したり、講義終了後にナレッジサロンで意見交換するなど、コミュニティ形成にも寄与している。

## Global Business Challenge ～2ヶ月で学ぶ！サマになる英語プレゼンの基礎～

平成26年9月2日(火)、9月16日(火)、9月30日(火)、10月14日(火)、11月1日(土)の全5回

主催：大阪イノベーションハブ

### 目的・概要

英語でビジネスモデルをまとめ、魅力的に情報発信する能力を磨くため、英語プレゼンのポイント、英語原稿・スライド作成のポイントなどを講義やワークショップ、オンラインチェックで学び、効果的に英語プレゼンの基礎を習得する。

### 参加・実施状況



10名 メーカー(機械、健康製品、線香)、貿易、法律事務所、大学研究者、デザイナー、起業準備中 等  
⇒受講生が持ち寄ったプロジェクトへの思いは熱く、コミュニケーション力、プレゼン力の向上によるビジネスのグローバル展開の実現が期待される。最終日は外部からも聴衆を募集した公開型の英語プレゼン発表会。